

編集委員名簿

農業研究所百周年記念事業検討委員会(平成13年度)

田村康弘*1 林 捷夫 谷本温暉 安淵次郎

藪内和男 板東一宏 高木和彦 川村泰史

梯 美仁 松家義克*2 △林 博昭

百周年委員会(平成14年度)

◎美馬克美 ○田村康弘*1 坂口謙二 藪内和男

石川茂夫*3 松家義克*2 △林 博昭

百周年記念誌発行委員会(平成15年度)

◎美馬克美 ○川下輝一 前田 功 坂口謙二

藪内和男 梯 美仁 △林 博昭

(◎代表 ○副代表 △事務局)

執筆者一覧

第1編 沿革

第1章 徳島県農業試験場前史 立石 一*4

第2章 創立から80周年まで

第1節 明治時代 石川茂夫*3

第2節 大正時代 石川茂夫*3

第3節 昭和時代(戦前) 石川茂夫*3

第4節 昭和時代(戦後) 田村康弘*1

第3章 80周年以降

第1節 農業事情

1 藪内和男, 2 松家義克*2, 3 吉田 良

4 川下輝一, 5 川村泰史, 6 林 博昭

第2節 組織・機構

1 田村康弘*1, 2 美馬克美, 3 田村康弘*1

第3節 本所・分場・試験地の概要と主な設備

1 林 博昭, 2 石川茂夫*3, 3ー1)～7) 林 博昭

3ー8) 田村康弘*1, 4～6 林 博昭

第4節 運営組織 川下輝一

第5節 行事および催物

1～2 田村康弘*1, 3 林 博昭, 4 田村康弘*1

5 林 博昭

第6節 教育機関・併設機関 田村康弘*1

第2編 試験研究の歩みと成果

第1章 稲作に関する研究

第1節 研究の変遷 吉原 均

第2節 研究業績

1 吉原 均, 2 山本善太, 3 藪内和男

第2章 麦作に関する研究 藪内和男

第3章 特用作物および飼料作物に関する研究

第1節 研究の変遷 南 明信

第2節 研究業績

1～3 南 明信, 4 藪内和男

第4章 野菜に関する研究

第1節 研究の変遷 板東一宏

第2節 研究業績

1 北岡祥治, 2 杉本和之, 3 村井恒治

4 吉田 良

第5章 花きに関する研究

第1節 研究の変遷

1 近藤真二, 2 近藤真二・高木和彦

第2節 研究業績

1～2 前田典子*5, 3 高木和彦, 4 近藤真二

5 高木和彦, 6 高木和彦・前田典子*5

第6章 土壌・肥料に関する研究

第1節 研究の変遷

1 黒田康文, 2 梯 美仁

第2節 研究業績

1 松家義克*2, 2 横田 香・水口晶子

3 黒田康文, 4 松家義克*2, 5 横田 香

第3節 砂地畑土壌に関する研究

梯 美仁・小川 仁

第4節 土壌調査事業 横田 香・水口晶子

第7章 病害虫に関する研究

第1節 研究の変遷 坂口謙二

第2節 研究業績

1ー1)～4)ー(3) 坂口謙二

1ー4)ー(4)～(6) 米本謙悟, 2 中野昭雄

第8章 農業公害・農薬残留対策・農薬分析等に関する研究

第1節 農薬残留対策と農薬の分析等に関する研究の変遷

亀代美香

第2節 農薬残留対策と農薬の分析等に関する研究業績

亀代美香

第3節 農業公害に関する研究の変遷

亀代美香・松家義克*2

第4節 農業公害に関する研究業績

亀代美香・松家義克*2

第9章 農業経営に関する研究

第1節 研究の変遷

1 武知 毅*6, 2 秋月 学

第2節	研究業績
1	武知 毅*6, 2 武知 毅*6・秋月 学
3	広田恵介・武知 毅*6, 4 武知 毅*6
5	広田恵介, 6 秋月 学
第10章	農業機械に関する研究 吉田 良
第11章	バイオテクノロジーに関する研究
第1節	研究の変遷 川村泰史
第2節	研究業績
1	吉原 均, 2 新居宏延, 3 川村泰史
4	新居宏延
第12章	情報・コンピュータ利用に関する研究
	林 博昭
第13章	池田分場・中山間担当における研究
第1節	研究の変遷 川下輝一
第2節	研究業績
1	新居 智, 2〜3-1) 小角順一
3-2)〜12)	高木一文, 4〜5 三木健司
第14章	海南分場・県南暖地担当海南園芸における研究
	阪口 巧
第15章	阿南筍試験地・県南暖地担当阿南園芸における研究
	安淵次郎
第16章	鴨島分場における研究(蚕糸研究)
第1節	沿革 平川文男
第2節	研究業績 平川文男・佐藤泰三
第16章	その他の分場・試験地の研究 林 博昭
第3編	資料
第1章	試験研究項目一覧 各担当
第2章	研究業績一覧 各担当
第3章	刊行物一覧 林 博昭
第4章	表彰 田村康弘*1
第5章	組織・人事・予算
1	林 博昭, 2〜4 川下輝一, 5〜6 林 博昭
第6章	年表 川下輝一・林 博昭
*1	現農業大学校
*2	現徳島農業改良普及センター
*3	現農業経営課
*4	元農業試験場長
*5	現徳島農業改良普及センター鳴門藍住営農室
*6	現徳島農業改良普及センター

編 集 後 記

百年史編纂の話が最初に持ち上がったのは平成13年12月頃であった。翌々年に百周年を控え、そろそろ何か始めようという機運が職員の間で高まりつつあった。そこで、所長の命により次長3名と研究所での在職年数の長い職員ら計11名が「農業研究所百周年記念事業検討委員会」を開催し、百周年記念行事について検討した。結論は、大がかりな行事はできないであろうが、記念誌の発行はぜひとも行うというものであった。

明けて平成14年度となり、改めて「百周年委員会」が所長以下7名で結成された。百年史の構成などを検討のうえ、9月には原稿募集依頼を行った。並行して、主に80周年以降に退職された歴代場長を始めとする諸先輩へ「思い出」編の原稿執筆を依頼した。さらに立石一氏からは、農事試験場設立以前の歴史について執筆のお申し出をいただき、是非にとお願いした。

平成15年度、いよいよ百周年を迎え編纂作業は急ピッチで進められたが、秋に百周年関連イベント等を行ったこともあり、百年史の発行は年度末までずれ込んだ。こうして編纂作業を終えることができ、担当者としては、まず何よりもほっとしたというのが偽らざる心境である。しかし、原稿をいただいて以来、長い方では1年数ヶ月の間お待ちせしご心配をおかけした。ここで改めて深くお詫び申し上げたい。

さて、百年史の編纂に当たって参考にしたのは、当然ながら「徳島県立農業試験場八十年史」(昭和58年度発行)である。百年史の全体の構成や資料編の項目などは八十年史を参考に決定した。また、80周年以前のことに関しては八十年史を尊重し、百年史は80周年以降の20年間を中心に編纂することとした。しかし、百年史と銘打つためには80周年以前の沿革や研究の変遷なども必要であるため、八十年史を参考に必要最小限に絞って記述した。写真についてもほとんどが保存されていたので、かなりの枚数を八十年史から流用させていただいた。原稿の中で最も早く集まったのが諸先輩に依頼した「思い出」であった。当時を伺い知ることのできる貴重な体験の数々や今後への叱咤・激励など、読み応えのある原稿が揃った。また、山本勉、長居勝美両氏には80周年以前の貴重な写真多数をご寄贈いただき、グラビア等で活用させていただいた。立石一氏による前史の原稿も「思い出」と同時期にいただいた。明治期の農政から農商務省農事試験場の設立・廃止までを簡潔明瞭に取りまとめられたもので、徳島支場の設置理由の考察など大変興味深いものである。

百周年記念誌発行委員会が最も苦心したのは第1編第3章であった。第1節では「農業事情」として、この20年間で特に変化のあった事項について6名が分担して執筆したが、改めてこの部分をみると、本来であればそれらを束ねる概観的部分があるべきでなかったかと反省している。次の第2節「組織・機構」以降は農業研究所の歴史を忠実に記録することを念頭に編纂した。特にバイテク棟を始めとした施設整備や平成13年度の組織改編は力を入れた部分である。平成10年度に誕生した鴨島分場についても、組織改編時の病虫害科移転等と併せてできるだけ詳しく記述した。

細かい点では年号と西暦の使い分けにも苦心した。我々現職員にとっては年号だけでも何ら不都合は無いわけであるが、数十年後の読者を想定すると西暦に統一すべきかとも思われた。最終的には、本文の各段落に1カ所ずつ「年号(西暦)」という形式で表すことにした。こうして百年史は出来上がったわけであるが、私を含め百年史編纂に携わった職員は、過去から現在へとつながる農業試験研究の流れを編纂作業を通じて知ることができ、大変有益な経験ができたと思う。このような貴重な機会を与えて下さった関係各位、また、原稿執筆や資料提供等にご協力下さった諸先輩に対し深く感謝したい。

(林 博昭記)